

## 平成 29 年度 日本神経生理検査研究会 通常総会開催のご案内

日本神経生理検査研究会 会長 高橋 修

会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、今年は猛暑日が多くはなく、残暑の時期も比較的涼しい日々が続いておりますが、皆様の地域ではいかがでしょうか。

さて、本研究会は平成 7 年に第 1 回目の研修会を千葉県で開催し、その後、組織編成を行い、21 年の歳月を経て会員数が 600 名を超えるまでに成長いたしました。これも各支部を運営している幹事および会員の皆様が神経生理検査を愛し、技術を極めることと、会員間の交流を地道に行ってきた結果であると考えております。

また、当会の活動は日本臨床神経生理学会に認められ、現在では理事 1 名、代議員 15 名が在籍しており、代議員以外でも各委員会委員として登録されて活躍しております。今年度は 4 年に 1 度の代議員選挙が行われ、さらに北海道支部から 1 名、東北支部から 2 名、関東甲信越支部から 2 名、中部支部から 1 名、九州・沖縄支部から 1 名が当選いたしました。このことも含め、臨床神経生理学会からは、新規の認定制度としてスタートする「術中モニタリング専門医・専門技術師制度」において、その確立に貢献することを期待されています。

臨床衛生検査技師会では、32 年ぶりとなる日本開催の国際学会への貢献と多くの会員が発表などで学術活動に参加し、さらには精度管理事業や全国研修会等で年間を通して活躍されていることは誇りに感じている次第であります。

平成 28 年度の事業は、第 21 回全国研修会を始めとし、各支部で研修会が行われ、内容の充実した講義や実技研修、そして多くの人的交流と情報交換が行われました。全国研修会は九州の久留米市で開催され、130 名の参加登録があり、講演会および懇親会とも大盛況のうちに終了したことを報告させていただきます。

さて、第 22 回全国研修会は議案書に示しましたように、平成 30 年 3 月に北海道で行う予定とし、北海道支部と協議を行っているところであります。

また、研修会等の情報掲載と会員の情報交換および交流をさらにアップさせるメーリングリストも大きなトラブルもなく順調に皆様に配布いたしました。当会はこれからも多くの手段を用いて可能な限り、皆様のお役に立てる場を提供して参る所存です。

29 年度の総会は例年通りの「電子総会」で行い、電子媒体を通して、ご意見などを賜りたいと存じますので、ぜひ、多くの会員の皆様にご参加くださるようお願い申し上げます。

執行部一同は、今後も神経生理検査の情報を伝えていけるように取り組んで参る所存ではありますが、会員の皆様もこれまで以上に当会を盛り上げていただけますようお願いを申し上げて、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

### <投票用紙へ>

#### 平成 29 年度日本神経生理検査研究会 通常総会(電子会議方式) 式次第

- 1) 議長選出
- 2) 議案の提案と審議検討 (会期:平成 29 年 9 月 15 日～平成 29 年 9 月 30 日) 16 日間
  - (1) 1 号議案  
平成 28 年度事業報告、収支決算、監査報告(H28.4.1-H29.3.31)
  - (2) 2 号議案  
平成 29 年度事業計画案、予算案 (H29.4.1-H30.3.31)
  - (3) 3 号議案  
平成 29 年度年役員信任案
- 3) 審議と採択(当会ホームページより投票):議案一括採択方式とする  
会則第 5 章 18 条『総会成立は、会員数の 1/10 の投票参加で成立とし、可否は投票数の過半数で決す』
- 4) 採択結果報告(ホームページにて中間報告と最終報告)

# 1号議案

## 平成 28 年度事業報告及び収支決算 (H28.4.1-H29.3.31)

### 【 I 事業報告】

#### 1) 評議委員会の開催

- ・平成 28 年度通常総会開催に先立ち、議案書(案)の審議を(H28.9.12-9.18)に開催した。
- ・提出した議案書についてほぼ変更することなく承認が得られた。

#### 2) 平成 28 年度通常総会を電子会議形式にて開催 (H28.9.19-10.2, 14 日間)

期間中会員数推移:H29 年度年会費納付会員 455 名, 未納会員 139 名

総会参加・投票の結果は, 投票総数 210 票であり, 承認=210 票, 反対=0 票であり会則第 5 章 18 条に則り、本年度議案書(案)は承認された。

なお、支部と投票数は、北海道 13, 東北 35, 関東甲 41, 中部 39, 近畿 49, 中国四国 17, 九州 16 であった。最終投票支部別結果をホームページにて広報した(H28.10.3)。

#### 3) 執行部会の開催 (H29.1.27、久留米市内某所)

出席者:高橋、片山、三浦、石郷、瀬川、水野

- ・H28 年度総会の総括と次年度総会の時期と運営準備についての検討。
- 6月開催を目標とし、そのために会費納入を再々呼びかけ完全実施を目指す。
- ・H29 年度事業計画の検討、とくに 21 回研修会の開催地と時期について  
開催地は北海道を候補とし時期は支部長と相談の上決定する。
- ・将来の執行部体制の若返り方法を検討。若手中堅の執行部参加を各個指名で要請していく。

### 【 II. 平成28年度決算報告】

#### 平成28年度収支決算書 (H28. 4. 1~H29. 3. 31)

会員数636名(未納会員157名含む)

単位 (円)

収入の部	予算	決算	決算明細
1. 会費	600,000	588,750	年会費、入会金合計 (複数年度納入があるため会員数の乗算ではない) 内訳:H26年 年会費 ¥500×12名 ¥250×1名 H27年 年会費 ¥500×139名 入会金 ¥1000×53名 H28年 年会費 ¥1000×452名 入会金 ¥1000×8名
2. 事業収入	270,000	539,000	H28年21th全国研修会参加費 内訳:会員 ¥3000×31 非会員 ¥5000×89 テキスト販売 ¥500×2冊
3. 雑収入	200	66	利子
小計	870,200	1,127,816	
4. 前年度繰越金	607,377	625,121	
合計	1,477,577	1,752,937	

支出の部	予算	決算	
1. 事業費	990,000	816,929	
H28年21th全国研修会運営費	650,000	530,929	講師料(交通費含む) ¥127000、会場費 ¥30750 印刷代諸経費 ¥70848、垂れ幕 ¥4050、消耗品 ¥20534
(参加費充当)	(270,000)	(530,929)	お茶・お菓子 ¥15753、雑費 ¥2984、昼食代 ¥7950
(研究会補助)	(380,000)	0	実務委員活動費(7) ¥52060、総会事務費(6) ¥199000
熊本地震義援金	55,000	50,000	会員数(500名)×100円として
表彰	10,000	10,000	
支部活動補助金	275,000	226,000	¥500×452名
2. 事務費	53,000	19,020	
会議費	12,000	6000	¥1000×6
通信費	6,000	6,000	¥1000×6
執行部行動費	10,000	6,000	¥1000×6
消耗品費	20,000	420	
案内通信費	5,000	0	
予備費	0	600	振込手数料
小計	1,043,000	835,949	
3. 次年度繰越金	434,577	916,988	
合計	1,477,577	1,752,937	

## [学術活動]

### 1. 全国主催

#### 1) H29.1.29: 平成 28 年度第 21 回全国研修会,

会場: 久留米大学筑水会館

講演1『覚醒と睡眠 睡眠段階を形成する様々な波形の考え方と判断』小川 清司先生(福岡浦添クリニック)

講演2『術中モニタリングにおけるアーチファクトへの対応』丸田 雄一先生(Brain Function)

特別講演1『脳波判読の手引き(成人, てんかん)』重藤 寛史先生(福岡山王病院てんかん・すいみんセンター長、国際医療福祉大学看護学部教授、九州大学共同研究員)

特別講演2『神経伝導検査でわかること』有村 公良先生(医療法人三州会大勝病院 院長)

九州沖縄支部で初めての全国研修会開催で支部の会員の協力により120名参加で盛会に終了

### 2. 支部主催

#### 1) 北海道支部

##### (1) H28.9.17～9.18 第63回神経生理検査勉強会(第20回宿泊研修セミナー)

テーマ: 臨床脳波検査～基礎から実践まで～

場所: 遊湯 ぴっぷ(上川郡比布町北 7 線 16 号)

講義1: 脳波検査の基礎と実際

講義2: 新生児の脳波(PSG検査も含む)意義と検査法, 小児脳波の検査と正常波形

ナイトセミナー1(実技講習会), ナイトセミナー2(症例検討会)

講義3: 発作時脳波検査, 病室での脳波検査の注意点

##### (2) H29.3.11, 第64回神経生理検査勉強会、会場: 北海道大学医学部臨床大講堂

テーマ「明日から実践できる神経伝導検査」

講演1「基礎から学ぶ神経伝導検査」 手稲溪仁会病院 臨床検査部 小川 優司 技師

講演2「絞扼性障害における神経伝導検査の有用性」 札幌医科大学 保健医療学部 教授 今井 富裕 先生

#### 2) 東北支部

##### (1) H29.3.11 第5回東北支部研修会 会場: 東北大学医学部保健学科1F 大講義室

【脳波ハンズオン】「電極装着 ～ 賦活までのポイントをつかもう」三浦 祥子 先生(東北大学医学部保健学科)

【神経伝導検査】「わかりやすい神経伝導検査-基本の理解と正しいデータを導き出すために」

高橋 修 先生(慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室)

【術中モニタリング】「症例提示」佐々木 寛人 先生(竹田綜合病院臨床検査科)

#### 3) 関東甲信越支部

##### (1) H28.9.25 第27回 関東甲信越支部研修会

テーマ: 『一步踏み出そう、電気生理を究めるために!』-聞くだけじゃない、参加型研修会に参加しよう-

講義1 教えてホッシー ～CMAPとSNAPの成り立ち～講師: 星野 哲 技師(帝京大学医学部附属病院)

講義2 神経疾患と脳波検査講師: 平田 幸一 医師(獨協医科大学病院 神経内科教授)

講義3 グループディスカッション①脳波コース②神経伝導検査コース

##### (2) H29.2.26 第28回関東甲信越勉強会【会場】 日本光電フェニックスアカデミー

1. ABR講義「ABRの結果の解釈」とハンズオン 田中 理 技師(横浜市立脳卒中・神経脊椎センター)

2. SEP講義「SEPの結果の解釈」とハンズオン 星野 哲 技師(帝京大学医学部附属病院)

#### 4) 中部支部

##### (1) H28.10.8 第26回 中部支部研修会

症例提示1「脳波検査」 藤井 忍技師(三重大学医学部附属病院)

症例提示2「当院で経験した術中モニタリング(整形外科領域)」 西脇 啓太技師(市立半田病院)

講演 「神経生理検査に必要なMEの基礎知識」 佐野 仁 先生(日本光電工業株式会社)

特別講演 「神経生理検査をおこなう前に」 正門 由久 教授(東海大学医学部 リハビリテーション科学)

##### (2) H29.3.25 第27回中部支部研修会名古屋市立大学 医学研究科・医学部研究棟11階講義室A

症例提示1「神経エコー ～神経伝導検査に併用してみると～」 伊藤 亜子 技師(岐阜大学医学部附属病院)

症例提示2「患者さんを見よう、聞こう、話そう!からの脳波検査」 井澤 和美 技師(名古屋第二赤十字病院)

講演「術中神経モニタリング(IOM)の先にあるもの～IOMスペシャリストとしての姿勢～」

佐々木 一郎 技師(神戸市立医療センター中央市民病院, 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座)

特別講演「明日から役立つ小児脳波の基礎知識」 荒木 敦 医師(恩賜財団大阪府済生会野江病院 小児科)

#### 5) 近畿支部

特記なし

#### 6) 中国四国支部

##### (1) H28.12.17 第5回 中国四国支部勉強会 会場: 鳥取大学医学部 (アレスコ棟 121・122講義室)

症例提示1: 脳波検査を好きになろう! (症例提示) 広島大学病院 小山由実先生

症例提示2: 誘発脳波検査を好きになろう! (症例提示) 鳥取大学医学部 佐藤研吾先生

症例呈示3:神経伝導検査を好きになろう!(症例提示)徳島大学神経内科 山崎博輝先生

ハンズオン: A神経伝導検査ハンズオン徳島大学病院 栗原優子先生、B:誘発脳波検査ハンズオン鳥取大学医学部 佐藤研吾先生

#### 7)九州沖縄支部

(1)H29.1.28 第21回全国研修会と共催開催を行った。

### 3. その他事業

特記なし

## 【 IV平成28年度 監査報告 】

### [監査報告書]

平成29年 9月6日

日本神経生理検査研究会

会長 高橋 修 殿

平成28年度の監査を実施しましたので下記の通り報告します。

会計監査 水野久美子 (印)

#### 記

1. 会務について、事業計画を円滑かつ確実に遂行されていることを認めます。
2. 会計について、会計収支に不正なく現金および通帳等は正確に整っていることを認めます。

## 2号議案

### 平成29年度事業計画案および予算案(H29. 4. 1~H30. 3. 31)

#### 【 I. 事業計画 】

##### 1. 組織、運営に関すること

- 1) 会員が神経生理検査の質向上に寄与し、社会に広く認知されるように本会の組織のさらなる活性化および人材育成を行っていく。同時に次期幹部役員の発掘・指名・育成を念頭に根回し活動を行う。
- 2) 会員の情報交換の場として活用されているメーリングリストの適切な運営と、さらなる充実を図る。
- 3) 支部活動の充実を図るための援助を行う。
- 4) 年1回の総会を電子総会として開催する

##### 2. 学術関連における他団体との連携に関すること.

- 1) 本会が主催する全国研修会を開催する。
- 2) 日本臨床衛生検査技師会や日本臨床神経生理学会は、認定制度や生涯教育における従来の交流を継続するとともに、新しい制度や検査項目などの情報を収集する。
- 3) 専門学会との交流は、臨床検査技師が関わる日本臨床神経生理学会を中心とするが、神経学会や末梢神経学会などの新規の団体などの交流も視野に入れて、研究会の充実と会員の利便性を図る。
- 4) 日本臨床神経生理学会が主催する、神経筋シンダンセミナー、術中脳脊髄モニタリング委員会やセミナー、脳波セミナー・アドバンスコース委員会やセミナーなどの専門技術交流が図れる団体等には積極的に情報交換を図り、会員の技術育成に関与する。

##### 3. 表彰事業に関すること.

会員のモチベーションの上昇を考慮し、表彰制度を推進する。  
対象とする論文は、前年度に発表された論文について表彰委員が吟味し推薦する。  
自薦他薦を問わず広く募集いたします。

#### 【 II. 学術活動 】

## 1. 全国主催

H30.3.10 第22回全国研修会 会場:北海道大学

講演1『(仮)術中モニタリング』板倉 毅先生(福島医科大学)

講演2『(仮)睡眠』石郷 景子 先生(大垣市民病院)

特別講演1『(仮)神経伝導検査』津田 笑子 先生(札幌医科大学)

特別講演2『(仮)脳波』神 一敬先生(東北大学大学院医学系研究科てんかん学分)

## 2. 支部主催

### 1) 北海道支部

(1) H29/10/7～8 第65回神経生理検査勉強会&第21回宿泊研修セミナー

テーマ「NCS再確認～技師が知っておくべき基礎と臨床～」

場 所 定山溪ホテル(札幌市南区定山溪温泉西4-340-1)

10月7日

講演1 『神経伝導検査で糖尿病・絞扼性障害のここを診る』講師 伊藤 栄祐 技師

講演2 『手の外科領域で必要とされるNCSのポイント』講師 植松 明和 技師

・ナイトセミナーⅠ 『実技講習会』

・ナイトセミナーⅡ 『症例検討会』

・ナイトセミナーⅢ 『自由実習』

10月8日

講演3 『復習テスト一問一答』講師 植松 明和 技師

(2) 平成30年2月頃 第66回勉強会 予定

### 2) 東北支部

(1) H29/9/23 第6回東北支部研修会 会場: 東北大学医学部保健学科1F 大講義室

【特別講演】「臨床脳波の有用性」東北大学大学院医学研究科精神神経学分野 教授 松岡 洋夫 先生

【神経伝導検査ハンズオン】 ～「さらなるステップアップを目指して」～

・Aコース……………橈骨・腓骨・内側前腕皮・外側前腕皮神経

・Bコース……………顔面神経・瞬目反射・反復刺激

・Startコース(初級者)……………正中・尺骨・脛骨・腓腹神経

### 3) 関東甲信越支部

(1) H29/9/3 第29回関東甲信越支部勉強会 【会場】 日本光電フェニックスアカデミー

テーマ『聴いて、訊いて、日頃の検査に役立てよう』

講義1. 教えてホッシー「神経伝導検査で波形が導出できない?!」

講師: 星野 哲 技師(帝京大学医学部附属病院)

講義2. めまいにおける検査のアプローチ

講師: 城倉 健 医師(横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 神経内科部長)

3. グループディスカッション「めまい・平衡機能検査」,「神経伝導検査」

(2) H30/2/25 第30回関東甲信越支部勉強会 会場: 日本光電フェニックスアカデミー

講義1. 「教えてホッシー」SEP 星野 哲技師 帝京大学医学部附属病院

講義2. アンケート集計報告 谷中 弘一技師 獨協医科大学 日光医療センター

講義3. 患者さんの症状から検査を考える(上肢編) 齋藤 江美子技師 丘整形外科病院

### 4) 中部支部

(1) H29/10/21 第28回中部支部研修会 場所: 名古屋市立大学 医学研究科・医学部研究棟11階講義室A

症例提示「THAに伴う術後神経麻痺の検知にMEPが有用だった1症例」榎田 智仁 技師(公立陶生病院)

ハンズオン講演「上肢神経伝導検査(uncommon NCSを含む)」横井 綾子 技師(大隈病院)

特別講演「臨床脳波検査のコツと勘どころ 一判読させる記録作り」酒田 あゆみ 技師(九州大学病院)

(2) 平成30年3月中旬 第27回中部支部勉強会 予定

### 5) 近畿支部

H30/3頃 第6回近畿研修会 準備中

### 6) 中国・四国支部

- (1) H29/8/5-6 第6回中国四国支部研修会 場所:徳島大学蔵本キャンパス  
 ～徳島大学神経内科 Neuro-Tokushima Seminar 2017合同企画～

『神経生理を極めよう!』

徳島大学神経内科 梶 龍児 教授のご厚意により「Neuro-Tokushima Seminar 2017」と日本神経生理検査研究会中国四国支部との合同企画での開催が実現いたしました。5日は徳大筋電図チームによる、経験別レクチャーをはじめ、木村淳先生のライブレクチャー、当研究会の高橋会長の講演、徳大神経内科教授梶龍児先生による実際の患者さんの電気生理診断のライブなど、6日は野寺裕之先生による技師のための電気生理診断、合同ハンズオンでは当研究会の高橋会長の神経伝導検査や和田晋一さんによる顔面神経、また神経筋エコーなど幅広い選択肢を設けております。また5日の夜は木村先生、梶先生を囲んで医師、技師が入り混じった懇親会も企画しております。

- (2) H29/12/17 第7回中四国支部勉強会 会場:広島大学 広仁会館

・内容:脳波検査について

本研修会はてんかん学会共催でGSK教育事業推進とのコラボレーション企画です。

・講師:広島大学病院てんかんセンター長 飯田 幸治先生、同てんかんセンター副センター長 石川 暢恒先生、  
 広島大学病院脳神経外科 香川 幸太先生

## 7)九州沖縄支部

- (1) H29/10/28 第14回九州支部講演会 会場:熊本機能病院 南館中ホール

講演1 『神経伝導検査～波形がみえる～』 西村 康平 先生(熊本機能病院)

講演2 『誘発電位検査入門』 片山 雅史 先生(国際医療福祉大学)

講演3 『脳波検査超入門』 八木 和広 先生(潤和会記念病院、宮崎大学農学工学総合研究科)

- (2) 第1回九州支部実技講習会

日時・会場未定です。決定次第ホームページにて案内します。

## 【Ⅲ. 会員表彰】

該当者なし

## 【Ⅱ. 平成29年度予算計画書】

平成29年度収支予算書(案) (H29. 4. 1～H30. 3. 31) 会員数628名(未納会員179名含む) 単位 (円)

収入の部	前年度決算	予算	決算明細
<b>1、会費</b>	<b>588,750</b>	<b>600,000</b>	年会費会費、入会金合計 複数年度会費納入も含む
<b>2、事業収入</b>	<b>539,000</b>	<b>270,000</b>	H29年22th全国研修会参加費 内訳: 会員 ¥3000 × 40 非会員 ¥5000 × 30
<b>3、雑収入</b>	<b>66</b>	<b>100</b>	利子
小計	1,127,816	870,100	
<b>4. 前年度繰越金</b>	<b>625,121</b>	<b>916,988</b>	
<b>合計</b>	<b>1,752,937</b>	<b>1,787,088</b>	

支出の部	前年度決算	予算	
<b>1、事業費</b>	<b>816,929</b>	<b>1,055,000</b>	
H29年22th全国研修会運営費 (参加費充当) (研究会補助)	530,929 (530,929) 0	820,000 (270,000) (550,000)	講師料(交通・宿泊費含む)(4) ¥355000、会場費 ¥40000 印刷代諸経費 ¥90000、お茶・お菓子・弁当・雑費など ¥30000 実務委員活動費(6) ¥30000、総会事務費(5) ¥275000
熊本地震義援金	50,000	0	
表彰	0	10,000	
支部活動補助金	226,000	225,000	¥500 × 450名
<b>2. 事務費</b>	<b>19,020</b>	<b>73,000</b>	
会議費	6000	10,000	
通信費	6,000	6,000	¥1000 × 6
執行部行動費	12,000	12,000	¥2000 × 6
消耗品費	420	10,000	
案内通信費	0	25,000	名簿DB管理等
予備費	600	10,000	振込手数料等
小計	835,949	1,128,000	
<b>3. 次年度繰越金</b>	<b>916,988</b>	<b>659,088</b>	
<b>合計</b>	<b>1,752,937</b>	<b>1,787,088</b>	

## 3号議案 平成29年度年役員信任案

### 日本神経生理検査研究会役員案 (下線は今年度より新役員)

#### 1. 執行部役員

会長	高橋 修	(慶應義塾大学医学部)
副会長	片山 雅史	(国際医療福祉大学)
副会長	石郷 景子	(大垣市民病院)
事務局長	瀬川 義朗	(自宅)
会計	三浦 祥子	(東北大学医学部保健学科)

#### 2. 支部代表者

北海道支部	<u>山本 雅史</u>	(北海道大学病院)
東北支部	板倉 毅	(福島県立医科大付属病院)
関東甲信越支部	谷中 弘一	(獨協医科大学日光医療センター)
中部支部	田中 夏奈	(小牧市民病院)
近畿支部	<u>松下 隆史</u>	(神戸市立医療センター中央市民病院)
中国・四国支部	高松 直子	(徳島大学病院)
九州沖縄支部	八木 和広	(潤和会記念病院)

#### 3. 評議員会(順不同・敬称略・執行部役員および支部長) 12名

高橋 修	(慶應義塾大学医学部)
片山 雅史	(国際医療福祉大学)
石郷 景子	(大垣市民病院)
瀬川 義朗	(自宅)
三浦 祥子	(東北大学医学部保健学科)
<u>山本 雅史</u>	(北海道大学病院)
板倉 毅	(福島県立医科大病院)
谷中 弘一	(獨協医科大学日光医療センター)
田中 夏奈	(小牧市民病院)
<u>松下 隆史</u>	(神戸市立医療センター中央市民病院)
高松 直子	(徳島医大病院)
八木 和広	(潤和会記念病院)

#### 4. 会計監査

水野 久美子	(名古屋市立大学)
--------	-----------

#### 5. インターネット運営委員および事務局

瀬川 義朗	(自宅)
和田 晋一	(香川県立保健医療大学保健医療学部)
<u>(補佐) 松下 隆史</u>	(神戸市立医療センター中央市民病院)

#### 6. 表彰推薦委員 (順不同・敬称略)

片山 雅史	(国際医療福祉大学)
丸田 雄一	(山口大学)

<投票用紙へ>